

## 法人向け LED 照明の事業戦略を発表 総合照明メーカーとして 主力商品を同時に一新（リニューアル）

生活用品製造卸のアイリスオーヤマ株式会社（本社：仙台市、代表取締役社長：大山 健太郎）は、法人向け LED 照明事業参入から 4 年目を迎えるにあたり、本日、総合照明メーカーとして各施設カテゴリーの主力商品を同時に一新（リニューアル）する事業戦略を発表しました。

東日本大震災後の原発停止による電力コストの増大を背景に企業の節電に対する関心はより高まっています。LED チップの高性能化や高効率化が進展し、点灯時間が短い場所や高効率蛍光灯が設置されている場所への LED 照明の新規導入や置き替えの需要も増加しています。こうした法人向け LED 照明の事業を取り巻く環境変化に対応するため、今後当社は本日発表した事業戦略を元に商品開発や、設計、販売を行っていきます。事業戦略の実現に向けた施策は以下の通りです。

### 1. **【Economy】高効率ラインアップ（品揃え）の拡充**

新たなリプレイス（LED 照明から LED 照明への切り替え）時代を迎えるにあたり、従来から最重要課題として取り組んできた LED 照明の高効率化を、これまで以上に推進します。また、豊富な実績を元に直管ランプ以外の主力商品群においても業界トップレベルの高効率を実現する商品を他に先駆けて投入していきます。今回発表する施設照明においては、当社従来品の LED 照明に対して約 3 割※の効率改善を実現しました。

### 2. **【Quality】光の質を高めた設計**

従来光源に近い「自然な光」にこだわった製品を市場に投入していきます。LED 照明特有の眩しさをユーザーの立場になって考え、当社の技術と経験により光の眩しさを低減することで自然な光を実現させました。今後は、「LED 一体型ベースライト：LX-F シリーズ」、「埋込型スクエア LED ベースライト：SQ シリーズ」、「LED ダウンライト：高気密 SB 形シリーズ」に標準搭載することで、各施設カテゴリーの「見やすさ」を高めていきます。

### 3. **【Useful】利便性を追求した設計**

東日本大震災からの復興需要や景気回復による民間需要の増加、経済対策に伴う公共投資の増加を背景に建設業者の人手不足が深刻化されています。特に首都圏では 2020 年の東京五輪に向けて関連施設の建築特需が見込まれ、省力施工につながる製品や技術が求められています。当社は「ユーザーイン発想」で、LED 照明事業の施工者様を「ユーザー」と考え、今回リニューアルの製品も含め施工性を高める設計により作業の負担を軽減します。

※：LED 直管ランプ ECOHiLUX HE190、LED 一体型ベースライト LX-F、高天井用 LED 照明 HX において

## NEWS RELEASE

今回の戦略発表に伴い、主力商品の大幅リニューアルを行います。主な新商品の概要（名称：特長）は以下の通りです。（商品詳細は添付の補足資料参照）

●LED 直管ランプ ECOHiLUX HE190：

業界最高効率「190lm/W」。

蛍光灯の1/4の消費電力<sup>※1</sup>。当社初期型LED照明と比較して約2.5倍<sup>※2</sup>の高効率を実現。

LED照明からLED照明への切り替えのリプレイスに最適。

●LED 一体型ベースライト LX-F175：

業界最高効率「175lm/W」。

天井側への光の量を増やし、より自然な光の広がりを実現。

●埋込型スクエアLED ベースライト SQ シリーズ：

同タイプトップクラスの高効率「140lm/W」。

ムラのない面発光を実現。多重影やまぶしさを低減した自然な光。発光ユニットのみの交換が可能なので大がかりな工事が不要。

●高天井用LED照明 HX シリーズ：

業界最高効率「145lm/W」。

電源内蔵のコンパクトボディで施工性が向上。IRIS USA や IRIS OHYAMA EUROPE などの海外グループ会社で同時に商品展開が可能になる製品設計。

●高気密 SB 型 LED ダウンライト：

同タイプトップクラスの高効率「84.5lm/W」。

住宅に適した「まぶしくない優しい光」。明るさを保ちながら優しい光を実現。

ストレート配線が可能になり、複数を連結して使用する際の施工性が向上。

アイリスグループは、「快適生活」をキーワードに、暮らしを豊かで快適にするものづくりをおこなってきました。生活者の潜在的な不満を解消するソリューション型商品を作り出すことで、快適生活の需要と市場を創造しています。

そのなかで、国内だけでなく、海外グループにもネットワークを広げているLED照明事業を会社の柱の事業として位置づけます。本日発表の事業戦略や新商品展開により、今後は「総合照明メーカー」として、市場を創造し、持続的な成長を実現していきます。2014年のLED照明事業の売上は300億円(前年対比：125%)を目指します。

※1：FLR(ラピッドスタート式)蛍光灯40形から切り替えた場合。

※2：2010年発売の当社LED直管ランプ(消費電力25W)との比較。